

11月24日(水)開催（修斉校区）

番号	ご意見ご質問用紙記載内容(原文のまま記載)	教育委員会の回答・考え方
1	<p>この校区の人口減少に対する取組が急務。行政と地域が一体となってプロジェクトに取組む必要があると思います。動きが遅すぎると思います。</p> <p>魅力のある地域となるため努力し、PRが必要と考えます</p>	<p>魅力あるまちづくりや、教育の充実を図る様々な取組については、今後も地域とともに取り組んでいきます。</p>
2	<p>市は小中一貫教育をやればこんなに子どもが成長するとアピールするだけで本当にそうなるのかと疑問に思う。今小集団でしっかり教育されているこの地域の小学校を残してほしいです。修斉小学校を卒業した子どもはしっかり学び、子どもらしく育っています。</p> <p>コロナ禍の中で少人数学級をすることが大切な時期なので大規模化にするのですか。計画を白紙に戻してください。</p> <p>国が言っているから私達にも「せよ」と言うのは大変おかしいです。</p> <p>地域の声をしっかりきいて下さい。</p>	<p>①小中一貫校を含む小中一貫教育については、文部科学省において実施の際の手引が示され、既に多くの自治体で導入されており、効果検証も行われています。文部科学省の調査では、H26年とH29年の調査ともに、導入済みの自治体のうち、95%を超える割合で大きな成果が認められる、または成果が認められるとの回答があり、教育的効果が期待できると考えています。一方、課題が認められるとする割合については、H26年の調査では77%であったものが、H29年では53%に減少しており、各自治体において課題を解消するための取組が構築されてきたものと考えます。教育委員会では、小中一貫教育の教育的効果は高いと判断しており、今後も、先進自治体の好事例を多く視察・研究するとともに、「岸和田市小中一貫教育推進会議」においても必要な対応について引き続き検討します。</p> <p>②小規模校ならではの取組や優位性があることは承知していますが、子どもたちには、成人するまで、また、成人した後も、限られた少人数の環境が保障されるものではありません。教育委員会としては、義務教育9年間の学校生活の中で、子どもたちが身に付けた力が、将来社会に出た時も、たくましく、生きる力につながるものが何よりも大切であると考えており、そのためには小・中学校の段階から、集団規模が確保された教育環境の下で、多くの友達をつくり、時には自分と違う多様な考え方に触れ、時には意見を闘わせながら、ともに協力して課題を解決していく力をつけることが大切であり、小中学校の適正規模・適正配置の取組を進めるべきと考えています。</p> <p>③新型コロナウイルス感染症について、1校及び1学級当たりの児童生徒数の多寡と、感染リスクの関連性については明らかにされておりません。新型コロナウイルス感染症の感染対策については、学校の規模に関わらず、すべての学校において、3密回避の徹底をはじめ、国や府のガイドラインに基づき適切に対応しています。</p> <p>なお、感染症対策において、一定の空間内での人の密度のあり方については、学校だけでなく、あらゆる施設や交通機関などに共通するものであり、必要であれば、国において統一的な基準が定められるべきものです。感染症対策の観点と小・中学校の適正規模・適正配置の取組を結び付けることは妥当ではないと考えます。また、少人数で密を防ぐというコロナ禍での学校における緊急対応を、今後、平常時においても継続すべきか否かについては、教育の基本に関わることであり、国において一律に判断・決定すべきものと考えます。</p>
3	<p>ありがとうございました。まだまだこの段階で具体案を出すことはとても難しいですし、ここで言ってしまうと、後でくつがえす事はさらに難しいと思います。細かく、決まったことを発信してもらえたらと思います。</p> <p>私は小中一貫を進めていいと思います。今のままでは一生変化はありません。でも！少しでも子どもたちにとってプラスになる可能性があるなら、親としておねがいしたいと思います。</p> <p>子ども達の未来のために！</p>	<p>教育委員会の考え方や、市民の皆様からいただいたご意見等については幅広く公表していきます。</p> <p>今後も、子どもたちにとって良い教育環境を最優先に考え、取組を進めていきます。</p>

11月24日(水)開催（修斉校区）

番号	ご意見ご質問用紙記載内容(原文のまま記載)	教育委員会の回答・考え方
4	<p>①本日1番目にあった資料の28ページ「8適正化に際しての必要な対応」の「(2) 学習環境への配慮」について、◇児童生徒同士の事前交流の「事前」とはいつのことですか？また、交流とは何をされるのですか？もし、小中一貫校になる前に天神山小、修斉小、東葛城小の学校同士で交流するのであれば各学校先生に任せっきりになるのですか？</p> <p>②同じく、教員配置や部活動への対応について、必要な対応をしていくと言っていましたが、具体的にどのような対応ですか？</p> <p>③中学生の部活動と小学生の学童保育が時間的に同じになるとと思いますが、どのように区別しますか？（放課後・土曜日）また、その時のスクールバスはどのように動くのか。</p> <p>④スクールバスを導入とありますが、もし阿間河滝町のみで1学年5人として6学年で30人大型バスは町内の道路に入て来れないと思います。また③番とも重複しますが、帰りはどうなりますか？</p>	<p>①他の自治体の先進事例では、再編の数年前から、運動会や体験学習などの学校行事を合同で行ったり、一緒に給食を食べることで交流を図るといった取組等が報告されています。具体的な交流時期や内容等については「(仮称) 学校開校準備委員会」でのご意見等も踏まえ検討していきます。</p> <p>②適正化後の学校については、小・中学校両方の資格を持つ教員を配置しますが、教職員の数が十分に確保されない場合は、市独自の教員加配を検討します。部活動についても十分な数が確保されない場合は、例えば、隣接校と合同チームを編成するなど、必要な対応を行います。</p> <p>③施設整備の際に、小学生が遊ぶスペースを別に設けるなど、児童生徒数の安心・安全を最優先に様々な工夫を行います。スクールバスの運行時間等の詳細については、大幅な待ち時間が生じることのないよう、また、安全確保を最優先に、(仮称) 学校開校準備委員会で検討していくこととしています。</p>
5	<p>市長の言いなりで大変だと思えますが意見を言わせてもらいます。</p> <p>市長のする事は納得できません。</p> <p>統合すれば、学力は井の中の蛙になると違いますか？決まった？かもしれません反対です。</p> <p>もっとやる事あるのでは！わかりませんが、市街化調整区域を解除すれば、人が増えるのではないですか？これもせず。急に人が少ないから統合するのはどうかと思います。海側の学校崩壊←特認校の世話になっていると違いますか？</p>	<p>①学力向上の取組については、適正規模・適正配置の取組と並行し、教育委員会の重点施策として実施し、すべての児童生徒に確かな学力の育成を図ります。</p> <p>②市街化調整区域解除のご意見については、担当部署に伝えます。</p>
6	<p>今、現在の葛城中の施設では、案に記されている小学校16～18クラス、中学校9クラスの児童・生徒にとってより良い教育環境ではないと思います。教室はどうか確保されても運動場や体育館等はとてませまく、児童生徒はのびのび活動できるとは思いません。また、幼児教育との一貫も挙げられていますが、山滝小中学校とは違い、幼稚園（こども園）は併設されておらず、今の幼稚園と小学校とのつながりが寸断されることとなります。今までの幼小連携いをむだにしないで下さい。</p>	<p>①小中一貫校の設置にあたり、施設整備を行う際は、児童生徒が安心・安全で快適に学校生活を送ることができるよう、今後、(仮称) 学校開校準備委員会におけるご意見等も踏まえながら、その内容を設計に反映してきたいと考えます。運動場について、現葛城中学校の敷地内で文部科学省の基準を満たす面積が確保できますが、この点についても、(仮称) 学校開校準備委員会におけるご意見等も踏まえながら、さらに広い面積が確保できる方途がないか、十分に検討していきます。</p> <p>②幼小の連携については、「岸和田市小中一貫教育基本方針」に基づき、これまでの幼小連携の取組を活かし、施設の近接性の有無に関わらず、今後は幼児教育を担う就学前施設と小学校が連携し、カリキュラムの一体的な整備を図るとともに、幼小連携の取組を中学校にも拡大した一貫教育についても検討します。</p>
7	<p>教育委員会の説明は現状の数で考えておられますが、市の人口問題が問題ではないですか。市に人が集まってこないことが一番の原因では。人口を増やす政さくが解決する近道では。</p>	<p>人口の社会増、特に子育て世代に岸和田市を選択してもらうためには、教育環境の充実が重要であると考えます。それに向けて、小規模化している学校をそのままに、現在ある学校の数を維持するのではなく、適正規模・適正配置及び小中一貫教育の取組の推進により魅力ある学校づくりを進めることが必要であると考えています。</p> <p>魅力あるまちづくりを図るための様々な施策については、今後も市長部局とともに取り組んでいきます。</p>

11月24日(水)開催（修斉校区）

番号	ご意見ご質問用紙記載内容(原文のまま記載)	教育委員会の回答・考え方
8	<p>○通学区域の見直しによって、町会が分断されるケースがあるならば、町会としてのコミュニティが維持できるか（子供会等の運営）町会連合会などへのオーソライズの現状はどうなっているのか。</p> <p>○特認制度を導入し、通学する子どもの数をどの程度積算し、全校児童生徒数はどの程度の新しい学校規模を想定しているのか。</p> <p>○葛城の谷地域と牛滝の谷については、義務教育学校か、小中一貫型小・中学校かを、市の方向性を示した上で議論すべき（各学校開校準備委員会で別の案が出れば異なる形態なる）。</p>	<p>①学校は、何よりもまず、子どもたちの教育の場としての機能が最優先されるべきものであり、そのために、適正規模・適正配置の取組を進める必要があると考えます。その結果、地域コミュニティに及ぶ影響については、地域の皆様との十分な協議を踏まえた上で閉校後の校地・校舎のあり方も含め、市長部局とともに検討していきます。なお、今回の実施計画（第1期）（案）の内容については、町会連合会議においても報告させていただいたところです。</p> <p>②特認校制度を利用する児童生徒数の見込みは、現時点では困難なため、今後、適正化後の学校の児童生徒数を踏まえた上で、必要な場合は特認校の児童生徒に定員を設けるなどの対応を行います。</p> <p>③小中一貫校の施設形態については、他市の取組事例を参考にするとともに、今後「岸和田市小中一貫教育推進会議」、「（仮称）学校開校準備委員会」で幅広く議論した上で、その方向性を定めます。</p>
9	<p>適正規模・適正配置の主旨は理解できた。</p> <p>一番心配するのは、通学路が長くなること。道路が狭かったりすることで、安全が確保できるのかということです。特に低学年にとっては大きな負担になると思う。スクールバス等活用する必要があるのでは？今日の話で課題もたくさんあるようだが、スクールバス等の運行は是非考えていただきたい。</p>	<p>通学路の安全確保をはじめ、児童生徒の通学環境が変わることへの配慮を十分にいきます。</p> <p>スクールバスについては、通学距離だけではなく、通学路の状況や地理的条件など各地域の実情を踏まえ、他の地域との均衡にも配慮しながら、必要な場合は導入します。導入する場合の運行ルートやスケジュール等の詳細については、（仮称）学校開校準備委員会で十分に協議したうえで、決定します。</p>
10	<p>小中一貫校にしてメリットもたくさんあると思いますが小学生を日頃目にしている者からしましたら、身体の大きさの違う小学生と中学生を一緒の場所にして大丈夫なのか？</p> <p>テレビでも喫煙年齢が下がってきている様事があり、小学生にとってのデメリットばかり考えてしまいます。校舎一帯型ではなく施設隣接型の方が良いとは思いますがそうなる葛城中学校の敷地で十分なのかも疑問に思います。</p> <p>今日の質問にも出ていました。登校キヨリよりも、学校生活が小中共に安心安全に過ごせるのかを重視してもらえるのでしょうか？</p>	<p>本市における小中一貫校は初めての取組であり、皆様が疑問や不安を抱かれることは理解できるところです。</p> <p>No.2①の回答のとおり、小中一貫校を含む小中一貫教育については既に多くの自治体で導入されており、効果検証も行われています。実績が積み重なるにつれ、各自治体において課題を解消するための取組も構築されているところです。今後も、先進自治体の好事例を多く視察・研究するとともに、「岸和田市小中一貫教育推進会議」においても必要な対応について引き続き検討します。</p> <p>なお、No.6①の回答のとおり、小中一貫校の設置にあたり、施設整備を行う際は、児童生徒が安心・安全で快適に学校生活を送ることができるよう、計画してまいります。</p> <p>喫煙などの問題行動への対応については、小中一貫校であるかと否とを問わず、全ての小中学校で、必要な生徒指導を進めていきます。</p>
11	<p>伝統ある修斉小学校は、是非とも残して頂きたいです。小中一貫あるいは、中高一貫などの教育方針は大変貴重だと考えますが、財政上可能ならば葛城中はそのままで、小学校区の統合をして下さるとうれしく思います。</p> <p>この30年～40年間で増えた中学校や小学校をなくす方向で進めていただきたく希望します。</p>	<p>歴史と伝統のある学校を、地域の皆様が大切に思われることは十分に理解できることです。しかしながら、学校は、何よりもまず、子どもたちの教育の場としての機能が最優先されるべきものであり、そのために、適正規模・適正配置の取組を進める必要があると考えます。</p> <p>義務教育9年間の系統性や連続性、めざす子ども像の共有といった小中一貫教育の大きなねらいを考えると、「施設一体型」のほうがさらに高い教育効果が期待できることから、現葛城中学校での小中一貫校を計画したところです。</p> <p>計画が具体化した場合には、修斉小学校の歴史や特色ある教育内容は、新たな(仮称)葛城小中一貫校に引き継いでいきます。</p>